

# 平成17年度 分野チェックリスト

分野名	健康・福祉分野		分野番号	3
分野担当部	保健福祉部	関連部	区民生活部、環境清掃部、教育委員会事務局	

## 杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化

番号	指標名	単位	指標値			目標値	
			14年度	15年度	16年度	19年度末	
1	国保加入者一人あたりの医療給付費(地域差指数)		0.937	0.928	-	減少させる	
2	公共施設バリアフリー度	%	36.9	35.8	45.3	50	
3	特別養護老人ホーム入所者平均待機期間	月	1年8ヵ月	1年4ヵ月	1年3ヵ月	1年以内	
4	高齢者で生きがいを感じている人の割合	%	77.5	79.8	79.5	80	
5	保育園待機児童数	人	178	151	98	0	

指標の状況、定義は裏面をご覧ください。

## 杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化の状況(分析)

1 地域差指数は、保険者ごとの一人あたりの医療給付費の全国平均を1としたときの比較を表す指数である。この指標は、年齢階層ごとの被保険者数や保険者の給付実態などから地域による医療状況の格差や国保事業運営の状況を表している。退職者医療制度や老人保健医療対象者を除いた一般被保険者の指数は、毎年度右肩上がりの傾向にある。平成14年度は、4月に診療報酬単価改定があったが老人保健医療費拠出金ベースが全国平均より高いことが影響し、指数が増加した。平成15年度は、前期高齢者制の導入により一般被保険者の給付年齢が上がったが、老人保健医療費拠出金が減ったため、指数は減少している。

2 区立施設のバリアフリー度について精査を行った結果、スロープ・自動ドア・障害者トイレが設置済の施設が多数判明し、指標値は高くなった。施設によって優先項目が異なるので、指標値の明らかな改善や明確な目標設定は難しい。「杉並区ユニバーサルデザインのまちづくり推進指針」に基づき、施設の種類別に最低限必要な整備基準(優先整備項目)を設定・調査し、指標の定義の見直しと目標値の設定を行っていく。

3 特別養護老人ホームの入所者平均待機期間は、14年度から15年度にかけて1年4か月となり4か月短縮され、16年度はさらに1か月短縮された。特別養護老人ホームの入所者平均待機期間は、14年度には1年8か月にまで達したが、特別養護老人ホームのほか介護強化型ケアハウスや認知症高齢者グループホーム等「入所型介護施設」を総合的に整備し、また、15年10月から入所指針により真に入所を必要な方が入所出来るよう変更したため、15・16年度と減少傾向となり、目標まではあと僅かとなった。

4 高齢者で生きがいを感じている人の割合は、14年度から15年度にかけては2.3%の増であったが、15年度から16年度については、0.3%の減となった。今後も高齢者の生きがい対策につながる事業を、地域で活動するNPO法人と協働で推進し、19年度末の目標達成に努めていく。また、生きがいを感じている高齢者の割合を杉並区高齢者実態調査報告書で比較してみると、平成13年度は71.4%の人が生きがいを感じていると回答しているが、平成16年度は78.6%と増えている。

5 保育園の入所定員数は、16年度中78人分拡大した(4,892人 4,970人:1.6%増)。また、待機児童数は、53名減少(151名 98名)したものの保育需要は、引き続き高い水準にある。なお、対象となる就学前の児童数は、ほぼ横ばい(19,600 19,739:139名増)であった。

チェックリストの状況(参考)		
番号	名称	関連データ(他自治体との比較等)
	定義	
1	国保加入者一人あたりの医療給付費(地域差指数)	東京23区の中では、2番目に低い数値(新宿区 0.794、中央区 1.071)。内訳で見ると、一般被保険者では3番目(杉並区 0.887、新宿区 0.692、中央区 1.070)、老人では、5番目(杉並区 1.004、荒川区 0.772、台東区 1.147)。
	(一般被保険者の給付費 + 老人保健医療費拠出金) / (全国平均一人あたり医療給付費から得た給付費 + 基準老人保健医療費拠出金)	
2	公共施設のバリアフリー度	○同様な定義を用いている自治体はないので、他自治体との比較は困難。 ○区立施設は、不特定多数が利用する施設(体育館、敬老会館、児童館、集会施設等)のみを対象とした。 ○スロープ: 129/170 = 75.9%、自動ドア: 99/170 = 58.2%、障害者トイレ: 101/170 = 59.4%。その他の事項の整備状況は「いってきまっぷホームページ」で公開・更新している。
	公共施設(区立施設)において、スロープ・自動ドア・障害者用トイレの全てを備えている建物	
3	特別養護老人ホームの入所者平均待機期間	定義も含めて公表している自治体はないため、比較は困難。
	特別養護老人ホームに入所した人のうち、申し込みから入所までに要した待機期間の平均月数。(14年度までは、原則として、申し込み順となっていた)	
4	高齢者で生きがいを感じている人の割合	高齢社会白書(平成17年版): 高齢社会対策基本法に基づき、毎年政府が国会に提出している年次報告書 生きがい(喜びや楽しみ)を感じている」と答えたものの割合 …81.7%
	65歳以上のうち「あなたは、いま生きがいを感じていますか」に「はい」と回答した人の割合	
5	保育園待機児童数	東京都23区: 4,368名(平成16年10月)  23区全体で見ると、就学前の子ども人口千人あたりの待機児童数は低い方から8番目ですが、すでに待機児ゼロを達成している区もあり、一層の努力が必要な状況です。
	翌年度4月1日の待機児童数	
特記事項		